

◇ 体感温度 ◇

一定の室温があるにも関わらず、何故か寒い、また暑い、との体感をされる人は多いと思われます。それは「体感温度」が原因だと考えられます。

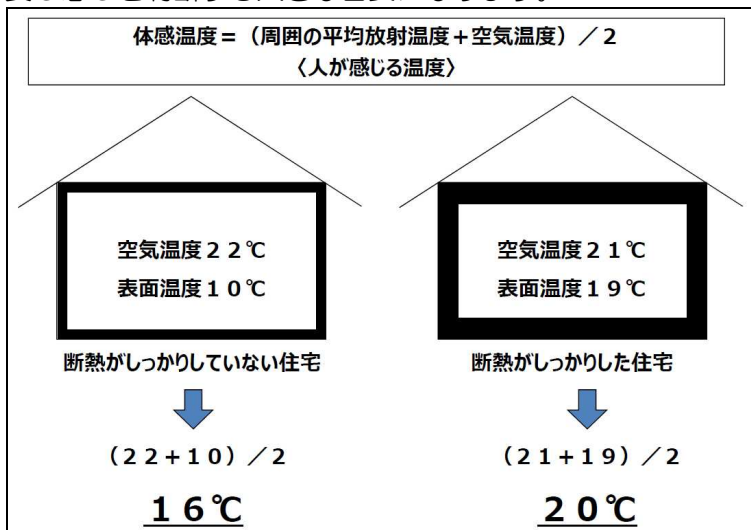
「体感温度」とは、文字通り「体で感じる温度」です。

下図のように、「体感温度」は周囲（床・壁・天井・窓）の平均放射温度と、空気温度（室温）、それに湿度が関係しています。

例えば、室温が22℃あっても断熱性能が悪く、周囲（床・壁・天井・窓）の温度が10℃の場合、人のカラダでは16℃にしか感じません。一方、部屋の室温が21℃でも、断熱性能があり、周囲（床・壁・天井・窓）の温度が19℃の場合は20℃以上で感じる場合もあります。つまり室内の床・壁・天井・窓などの温度と、室温が変わらない環境が理想なのです。また、湿度も体感温度に大きく関わります。乾燥空気は人のカラダの水分を蒸発させて体温を奪います。冬は湿度を高く、夏は低くすることで改善出来ます。これは、気密性能が高く、隙間から外気が入らないことが前提です。この「体感温度」は実際の室温より冷暖房費用に影響を与える場合が大きいのです。

家づくりを検討されている方は、見学会等に行った際には、床・壁・天井・窓の温度と、室温の差と湿度を注目すべきです。

住宅の良し悪しを判断する大きな目安になります。



◇ 「ファースの家」は空気循環で・・・ ◇

「ファースの家」は、天井裏に設置された専用の空気循環システムで、住宅内の天井裏～床下～壁内を空気循環する構造になっております。

暖房（冷房）期間中は、暖気（冷気）が空気循環によって、住宅の天井材・床材・壁材に触れ、天井材・床材・壁材が蓄熱（蓄冷）されて、室温に近づき前述の通り「周囲温度と空気温度」がほぼ同じくなるので、無駄に室温を上げたり（下げたり）しなくても、暖かい（涼しい）環境となります。

さらに、「ファースの家」は、床下に敷設された調湿剤「スカットール」の働きにより、適度な湿気をもった空気が循環されますので、夏はジメジメせず、冬は過乾燥しない快適な環境となります。

また、温度差の少ない快適な環境は、住む人の健康につながることで国の調査で分かってきましたので、今後、ますます住宅性能が重要になってきます。人生の大半を過ごす我が家は、快適で健康でいたいですね。

「ファースの家」に住まわれたお客様の声は、以下のホームページに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

■「ファースの家」ポータルサイト <http://www.fas-21.jp/>

（研究開発室 村上 一人）

孝太の知恵袋

ガラスの小さな破片を探すには

床に飛び散ったガラスの破片を安全に取る方法を教えるからね。

まずは、掃除機のホースの先に、履き古したストッキングを二重にかぶせるんだよ。ストッキングは、外れないように輪ゴムでしっかり止めること。掃除機のスイッチを入れると、ガラスの破片がストッキングにどんどん刺さってくるんだよ。破片は、あんがい遠くまで飛んでいるから、床は隅々までなでるように丁寧に吸っとくんだよ。

スイッチは、用意した牛乳の紙パックなんかの中に掃除機のホースの先を突っ込んでから切るんだよ。

ストッキングをくると外して、きっちりとフタをすれば、おしまい。もう大丈夫だよ。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

